

受託カウンセラーを目指す方、興味がある方のための講座です！

支部認定カウンセラー育成プログラム

主催：(社)日本産業カウンセラー協会 北関東支部

支部の相談事業を担う相談室カウンセラーと受託カウンセラーを育成するために「支部認定カウンセラー育成プログラム」を策定し、2009年から2年間に亘って第1回目の育成講座を開催しました。

2011年からの第2回目には、協会本部の受託カウンセラー育成ガイドラインに示された電話相談員研修の内容ならびにシニア産業カウンセラー講座科目との重複を避けるための見直しを行い、より実践的な講座への改革等を行いました。

現在、北関東支部では広く会員から受託カウンセラー志望者を募集の上、認定・登録する仕組みを構築しており、育成プログラムはその一環です。
ただし、本育成プログラムの修了をもって直ちに認定となるわけではなく、修了後改めて認定審査を受けて頂くことになります。
なお、業としてのカウンセリング経験がない方は、審査応募の際、本育成プログラム（第1期、第2期）の受講修了が必須条件となります。

記

1. 育成プログラムの目的と考え方

育成プログラムは、支部認定カウンセラーを育成することを目的とします。

支部認定カウンセラーを育成するに当たっては、協会の公益性と産業カウンセラーの社会的役割と責任に鑑み、産業カウンセラー協会の倫理綱領とガイドラインに則して行います。

2. 育成プログラムの概要

育成プログラムは、第1期、第2期の2段階とします。

第1期は、電話相談員研修の相当内容とし、実際の場面で多く見られる事例を素材として用い、実践を意識した具体的な実技訓練とします。

- ・電話相談の特質と限界
- ・傾聴の基本
- ・対人不安、緊張、パニック
- ・鬱、気分障害
- ・職場の人間関係
- ・キャリアカウンセリング
- ・ハラスメント
- ・仕事(量・質)、解雇、派遣
- ・多重債務、離婚
- ・介護、子育て、引きこもり
- ・リファーマについて、記録の取り方
- ・傾聴の実際と自己理解、自己確立

また、シニアコース講座（表 1）も受講し、第 2 期申込までに修了することとします。
なお、第 1 期のみを受講することもできます。

第 2 期は、受託カウンセラーに必要とされる実践的な知識やスキルを身につけることとします。

- ・ 逐語検討（2 回）
- ・ 臨床体験（2 回）
- ・ 事例報告書の検討（2 回）

また、シニアコース講座（表 2）を受講し、支部認定カウンセラー選考審査に応募するまでに修了することとします。

3. 育成プログラムの受講応募要件

育成プログラムの受講応募要件は、以下のとおりとします。

- ・ 第 1 期：産業カウンセラー資格を有し、協会会員であること
- ・ 第 2 期：第 1 期及びシニアコース講座（表 1）を修了していること。なお、2010 年度、当支部の「電話相談員実技研修」の受講を修了している場合、「支部認定育成講座第 1 期」を修了しているものと見なします。

4. 育成プログラム修了後の進路

育成プログラム（第 1 期、第 2 期）を修了した者は、支部認定カウンセラー審査に応募できます。認定を受ければ、支部認定カウンセラーとして、活動できます。

以 上

表 1

| | |
|-------|---------------------|
| K0210 | 精神医学の概論 |
| K0400 | 職場のメンタルヘルス |
| K0700 | 職業倫理 |
| K1000 | 雇用環境と人事労務管理 |
| K1100 | 産業カウンセリングに関わる関係法令 |
| M1210 | 面接記録のとり方、事例の書き方、見立て |
| M1220 | カウンセリングプロセス |
| M1710 | 逐語検討 1 |
| M1720 | 逐語検討 2 |

表 2

| | |
|-------|---------------------------|
| K0220 | ストレスと心身医学 |
| K0900 | 産業組織心理学 |
| M0300 | キャリアカウンセリング (CC 資格で代替) |
| M1230 | クライシスカウンセリング |
| M1500 | クリニカルカウンセリング |
| M1730 | 逐語検討 3 |